

第四次三輪地区地域福祉活動計画

令和7年度～令和11年度



みわ の まちづくり計画



三輪地区住民自治協議会



はじめに

第四次三輪地区地域福祉活動計画の策定にあたって

三輪地区住民自治協議会は、平成 20 年に設立され 16 年が経過しました。

この間、三次にわたり「まちづくりの指針」として、三輪地区地域福祉活動計画を策定し取り組んでまいりました。

三輪地区においても、急速な人口減少や少子高齢化の進行、単身高齢者・高齢者のみの世帯及び共働き世帯の増加等により、介護や見守り、子育て支援がこれまで以上に必要となるほか、核家族化やひとり親世帯の増加、近所付き合いの希薄化などにより、家庭でも、また地域においても、人との「絆の力」が低下しています。

また、各地で大規模な災害が発生する昨今、地域住民同士の結束がとても重要視される一方で、コロナ禍の影響により、人と人とのつながりはもちろんのこと、支え合い助け合うといった地域コミュニティも更に希薄になっている状況にあります。

こうした地域を取り巻く環境の変化や地域課題に対応するため、新たに「第四次三輪地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

本計画では、めざす将来像を「みんないきいき 安全・安心なまち 三輪」と描き、3 つの基本目標と 5 つの重点目標を示しております。

本計画に基づいた具体的な取り組みを行いながら、引き続き、地域福祉の推進に努めてまいりますので、行政、関係団体、そして地域住民の皆さんのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 4 月

三輪地区住民自治協議会

会 長 金井 和彦

目 次

はじめに ～第四次三輪地区地域福祉活動計画の策定にあたって～

第1章 地域福祉活動計画の概要

- I 地域福祉活動計画とは 1
- II 活動計画の位置づけ 1
- III 活動計画の期間 1

第2章 三輪地区の課題

- I 急速な人口減少・少子高齢化の現状 2
- II 核家族世帯の増加と家庭教育力の低下 3
- III 独居高齢者・高齢夫婦世帯の増加 3
- IV 隣近所間・地域住民間のつながりの希薄化 4
- V 災害への対応 4

第3章 計画の体系

- I めざす将来像（基本理念） 5
- II 基本目標 ～三輪の三つの「輪」～ 5
- III 重点項目（5本柱） 5
 - 1 つどい・ふれあい・つながる 6
 - 2 助けあい・支えあい 7
 - 3 守る・備える 8
 - 4 学ぶ・育てる・認めあう 9
 - 5 知る・伝える 10

第4章 計画の推進

- I 自治協の組織と役割 11
- II 協力団体 11

◇参考資料（アンケート調査結果） 12

◇あとがき 16

第四次三輪地区地域福祉活動計画策定委員会名簿 16

第1章 地域福祉活動計画の概要

I 地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画とは、地域が「こんな地域になればいいなあ」と将来の理想像を描き、その実現に向けた基本的な目標や重点項目を示し、行政、関係団体、地域住民の皆さんと連携して取り組んでいく中期（5か年）の活動指針です。

II 活動計画の位置づけ

本計画は、令和4年度に住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」をめざして策定されました長野市の「第四次長野市地域福祉計画」を基に、三輪地区の特性を考慮しながら地域の課題解決に向けて取り組み、安心して暮らせるまちをめざす三輪地区独自の「まちづくり計画」です。

III 活動計画の期間

本計画の期間は、令和7年度から令和11年度までの5か年とします。なお、この間における計画の進捗状況や実施結果等を踏まえて、必要な見直しは随時行うこととします。



第2章 三輪地区の課題

I 急速な人口減少・少子高齢化の現状

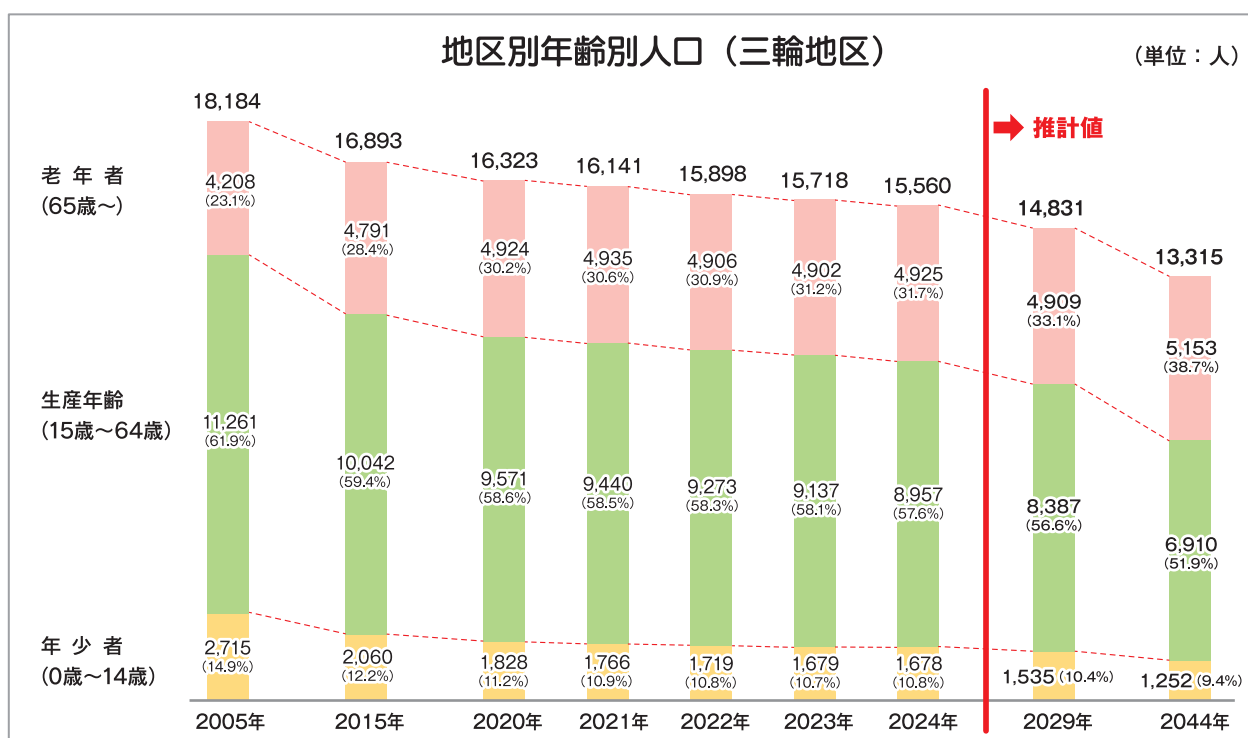
三輪地区の人口は、平成 17（2005）年から令和 6（2024）年の 20 年間で約 15%減少しています。また年代別では、0歳から 14 歳までの年少人口は約 38%減少、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口は約 20%減少しているのに対し、65 歳以上の老年人口は約 17%増加しています。

この人口の推移により、高齢化率は平成 17（2005）年には 23.1%でしたが、令和 6（2024）年には 31.7%となっており、少子高齢化が急速に進んでいることが分かります。

以上のように、人口減少や少子高齢化の進行により福祉ニーズが拡大する一方で、それに対応する担い手不足が懸念されることから、今後は、住民一人ひとりが地域福祉※に関心を持ち、お互いに助け合える地域づくりが必要となっています。

※「地域福祉」とは・・・

住民一人ひとりが、それぞれの地域で安心して暮らせるように、住民同士が協力し合い関係機関と連携して地域課題に取り組むこと。



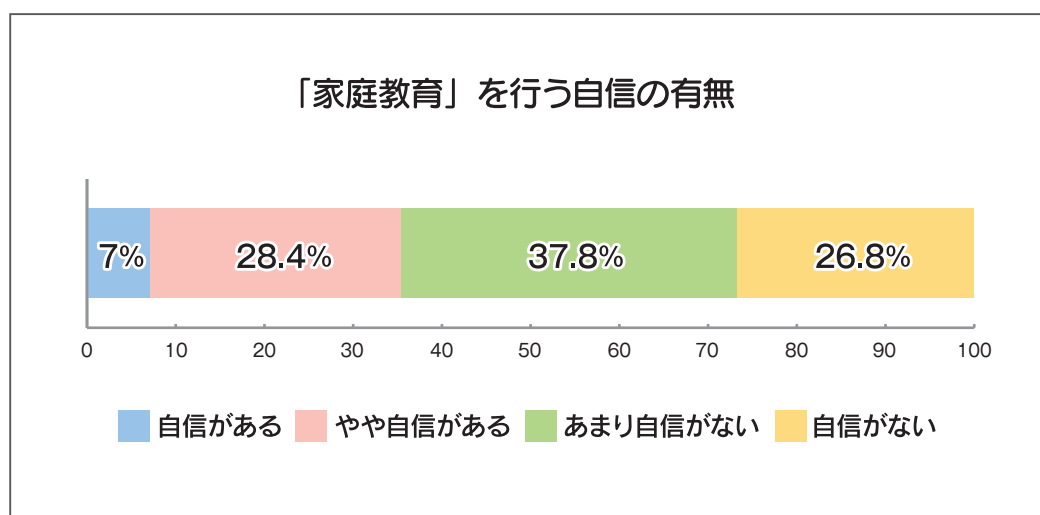
Ⅱ

核家族世帯の増加と家庭教育力の低下

近年、三世帯世帯が減少し、核家族世帯が増加しており、母子世帯・父子世帯数も増加傾向にあります。そのため、家庭の教育力の低下が危惧される現状にあります。

家庭のみならず、私たち地域住民も地域の子どもたちに対し、温かな声掛けや見守りなどを続け、「地域で子どもを育てる環境づくり」がとても重要であり、今後も維持していかなければなりません。

子どもたちの健やかな成長のために、家庭と地域、学校がお互いに連携し合い、学びや育ちを支えていく必要があります。



文部科学省ホームページより

Ⅲ

独居高齢者・高齢夫婦世帯の増加

核家族化が進む中で、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯が増加しています。そのため、草刈りや雪かき、ごみ出し等当たり前にできていたことが困難になったり、通院や買い物、地域活動への参加などの移動についてもお困り事として抱えている方が増えている状況にあります。

高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で、自分らしい生活をするために、医療、介護、保険・介護予防、住まい、生活支援等切れ目なく提供できる「地域包括ケアシステム」の早期実現が求められています。

そして、「空き家」の問題も深刻な課題の一つです。効果のある対策がいまだ見つからない状況にありますが、引き続き行政等と連携した課題解決に努めていかなくてはなりません。

Ⅳ

隣近所間・地域住民間のつながりの希薄化

昨今、ご近所付き合いについては、「親しくさせてもらっている」「お互いに訪問し合う関係」など、顔の見えるつながりが少なくなり、「あいさつをする程度」「ほとんど付き合いはない」などの関係が増えており、近所付き合いの希薄化が進んでいます。

このような状況の中で、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯、核家族世帯やひとり親世帯の増加、そして、世帯が抱える問題も 8050 問題・ダブルケア・ヤングケアラーなど複雑化・複合化しており、世帯の事情に見合った支援が必要となっています。

そのためにも、顔の見える近隣関係の再構築や地域とのつながりの維持、地域で見守り支え合う地域づくりがとても重要となっています。

V

災害への対応

東日本大震災や令和元年東日本台風、能登半島地震など度重なる自然災害の教訓から、災害時における避難支援の重要性等が浮き彫りになり、地域コミュニティと地域の支え合いの重要性が再確認されています。

地域においては、災害時の避難支援体制の確立が重要とされている一方で、要支援者の把握における個人情報の取り扱いが問題になっているほか、「地域でどこまで支援すべきなのか」「現実的に対応できるのか」といった意見も聞かれます。

支援「する側」と「される側」の双方が、日頃から意思疎通を図ることに努めるとともに、地域の実情に応じた地域防災マップの作成や実効性のある防災訓練の実施、避難行動要支援者の個別避難計画の作成※等、被害を最小限に抑えるための備えを各家庭や地域ぐるみで整えておくことが必要になっています。

※避難行動要支援者の個別避難計画の作成

令和3（2021）年、災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者の個別避難計画の作成が市町村の努力義務となりました。

第3章 計画の体系

I めざす将来像（基本理念）

みんないきいき 安全・安心なまち 三輪

II 基本目標 ～三輪の三つの「輪」～

三輪の三つの「輪」



III 重点項目（5本柱）

1. つどい・ふれあい・つながる
2. 助けあい・支えあい
3. 守る・備える
4. 学ぶ・育てる・認めあう
5. 知る・伝える



重点項目

1

つどい ふれあい つながる



目的

誰もが気軽に**つどい**、出会える場所を提供し、イベント等を通じて、お互いに**ふれあい**、**つながり**合いながら、地域住民が一つになって将来にわたり安心して暮らし続けられるまちづくりをめざします。

【主な具体的事業】

事業名	事業の目的	担 当
住民福祉大会 ～三輪のつどい～	住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせ、お互いが顔の見える地域となるよう、「福祉」についてみんなで考え、共有する機会をつくります。	健康・福祉部会
ふれあいコンサート	三輪地区内の音楽文化にふれあい、楽しみ、心から癒され、明日への活力と元気を得る機会をつくります。	区民広場委員会
ひまわり広場	老いも若きも世代を超え、すべての住民の皆さんが集まり楽しめる交流の場を設け、地域をあげて、一人ひとりの心を寄せ合いつながり合える機会をつくります。	区民広場委員会
縁側ゆい	誰もが気兼ねなく、おしゃべりや娯楽ができる場所（縁側）を設け、住民の皆さんの憩い・交流の場をつくります。	健康・福祉部会



住民福祉大会～三輪のつどい～



ふれあいコンサート



ひまわり広場



縁側ゆい

助けあい 支えあい



目的

地域のすべての皆さんが、共に**助けあい支えあい**ながら、自分らしくいきいきと安心して、この三輪の地で暮らしていけるまちづくりをめざします。

【主な具体的事業】

事業名	事業の目的	担 当
男塾	男性を対象に様々な講座を行い、シニアの男性が地域の活動に関心を持ち、社会参加するきっかけづくりや仲間づくりの機会をつくれます。	健康・福祉部会
ボランティアが参加しやすい仕組みづくり	「できる時間に、できることに協力していただく」ボランティアを募り、ボランティアが事業に参加できる体制整備を行っていきます。	ボランティア推進委員会
オレンジカフェひまわり	認知症のあるなしにかかわらず、一人ひとりを認め合い、穏やかな雰囲気の中で笑顔の対話を重ねるなどの時間を共有しながら、地域全体で認知症についての理解を深めることができる場をつくれます。	健康・福祉部会
地域たすけあい事業	地域の皆さんのご協力を得ながら、家事援助・生活支援と福祉移送を行い、支えあい、助けあう地域づくりをめざします。	事務局 (地域たすけあい事業コーディネーター)



男塾



オレンジカフェひまわり

地域たすけあい事業コーディネーターより
**身近な支えあい活動に参加してくれる
 「協力会員」さんを募集しています。**

活動内容

家事援助……身のまわりの家事に関するお手伝い
 福祉移送……歩行困難な方の通院のお手伝い

“やってみようかな！”……と思ったら
まずはお電話ください♪



三輪地区住民自治協議会 地域たすけあい事業
 電話：026-232-2225

守る 備える



目的

- ◆防災・減災対策 区で行うべきこと、地域として行うべきことの役割を明確にし、それぞれが必要な**備え**を行い、命を**守る**まちづくりをめざします。
- ◆交通安全対策 交通ルールの周知やマナーの向上を図り、事故のない安全で安心なまちづくりをめざします。
- ◆防犯対策 空き巣などの犯罪や不審者に対する**備え**を行い、犯罪のないまちづくりをめざします。
- ◆家庭ごみの対応 集積所の維持管理や適切な分別を図り、きれいな環境を**守る**まちづくりをめざします。

【主な具体的事業】

事業名	事業の目的	担 当
自主防災組織連絡会	各自主防災組織相互の情報共有を促進し、各区の自主防災会の充実強化を図るとともに、災害発生時における区間の協力連携、市などの関係機関との連絡などが円滑に行える体制をつくります。	区長部会
防災対策	各区の自主防災会で取り組んでいる防災計画や各種マニュアル整備などのお手伝いをするとともに、「災害に強い三輪地区」をめざした取り組みを行います。	防災委員会
交通安全推進事業	関係団体と連携して、交通安全の啓蒙活動や地域パトロールを通じて、子どもや高齢者への声掛けや安全見守りを行い、交通事故の撲滅に取り組みます。	安全・安心部会
防犯事業	防犯指導員を中心に、防犯協会や警察と連携しながら、研修会やパトロールなどの防犯活動を推進します。	安全・安心部会
ごみ集積所の維持管理及び分別搬出ルールの徹底と啓蒙	ごみの回収作業に関する「環境のてびき」（市発行）に従い、ごみの分別や搬出などが適切に行われるよう区単位で取り組んでいきます。	環境美化委員会



区長部会・防災委員会
合同視察研修（豊野地区）



自転車通行啓蒙活動



防犯研修会

学ぶ 育てる 認めあう



目的

「文教のまち三輪」として、将来を担う子どもたちを支援する機会の提供や高齢者がいきいきと暮らせるための知識を学ぶ機会を提供するなど、全世代に対し「生きる力」を**学び・育て**、互いに**認めあえる**まちづくりをめざします。

【主な具体的事業】

事業名	事業の目的	担 当
三輪子ども学校	地域が行う「学びの場」として企画し、地域が子ども同士のつながりをつくり、多様なかかわりから、子ども自身の人生を豊かにするお手伝いをします。	公民館部会
キッズふれあい体験	普段できない体験をすることで、より良い成長を遂げられる幅広い視野や知恵を養うとともに、一緒に過ごす仲間とのかかわりを学ぶお手伝いをします。	公民館部会
子どもと親の育ち合いサロン	子育て中の親御さんの居場所づくりと交流を通じた仲間づくりの機会を提供して、地域をあげて子育て支援を行います。	健康・福祉部会
地域と学校の交流会	学校及び地域の教育活動を軸にして発表し合い、学社連携による教育力の向上と地域一体となった青少年育成に取り組みます。	公民館部会
いきいき講座	「健康寿命」の延伸をめざして、専門講師による正しい運動法で地域の仲間と一緒に継続して活動することへの支援を行うほか、健康講座、音楽講座等を計画し、生活に潤いを与え心身を豊かにするお手伝いをします。	健康福祉部会
人権教育・男女共同参画推進事業	誰もが生まれながらにして持っている「自分らしさ」を大切に、地域のすべての人が、互いの人権を尊重し合い、認め合えるまちづくりをめざします。	公民館部会



三輪子ども学校



子どもと親の育ち合いサロン



いきいき講座

重点項目

5

知る 伝える



目的

地域住民の皆さんの声に耳を傾け、課題や要望を**知る**（把握する）ことに努め、事業に反映するとともに、必要な方に必要な情報などをタイムリーに**伝え**（発信）、多くの皆さんが幅広く地域の情報を共有し、住民参加のまちづくりをめざします。

【主な具体的事業】

事業名	事業の目的	担 当
広報活動	様々な手法（広報誌・HP・SNS など）を活用して、事業の計画や活動報告を発信し、住民の皆さんと共有するとともに、自治協の活動をより身近に感じてもらえるようにします。	広報委員会
地域福祉懇談会	主に地域福祉における課題や様々な困りごとを抽出し解決につなげる場として、各区で開催する懇談会を推進します。	区長部会
協力団体長会議	協力団体長との意見交換を通じて、多様な問題や課題の情報収集を行うなど地域ニーズの把握に努めるとともに、事業に生かすようにします。	事務局
地域と学校の連携プロジェクト	学校の代表者の皆さんと情報交換を行い、お互いが助け合える関係を構築します。	公民館部会



地域福祉懇談会



協力団体長会議

事業活動等の検索

詳しくはこちら



Instagram



Facebook



自治協 HP

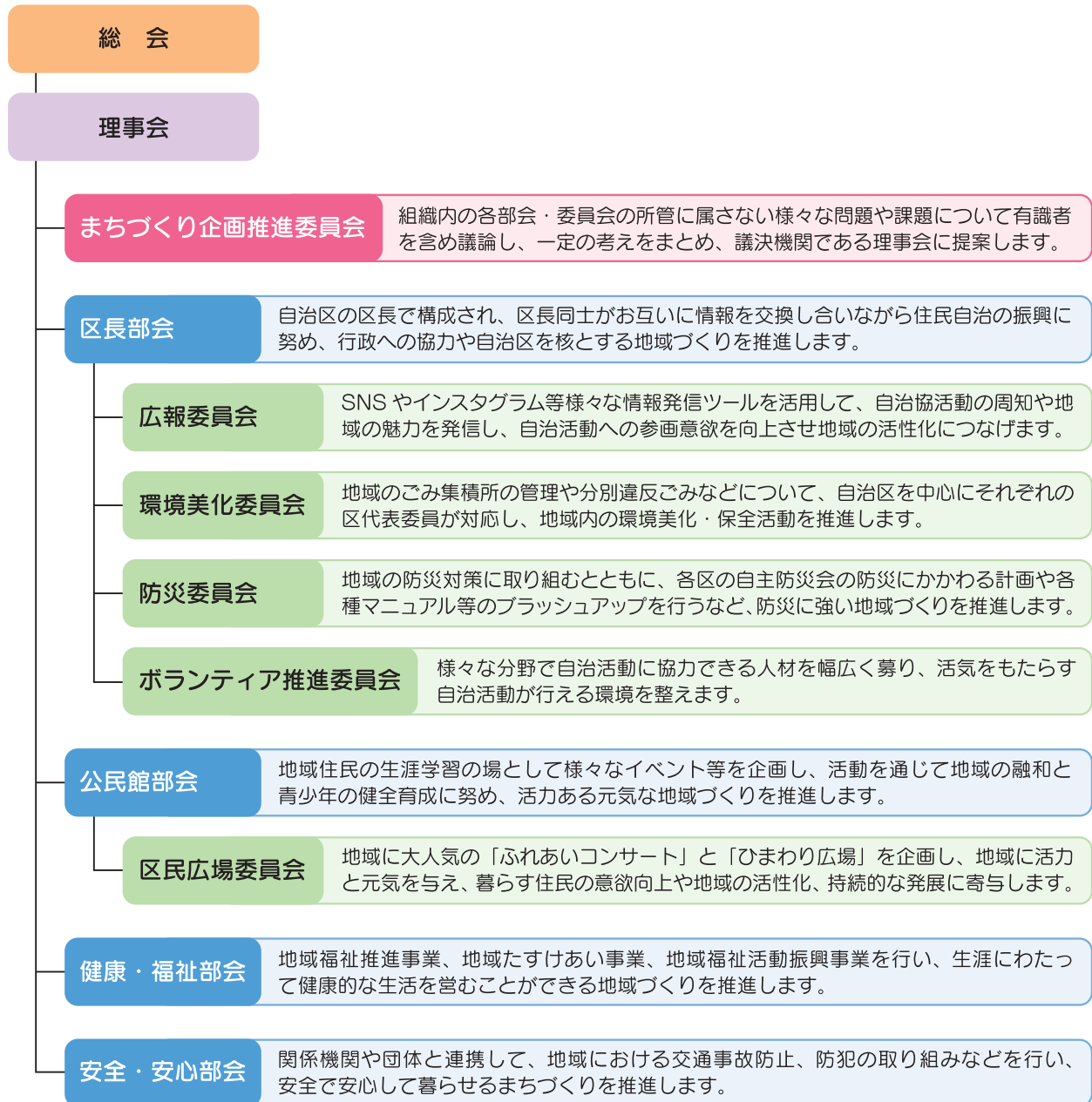


広報活動

第4章 計画の推進

I

自治協の組織と役割



II

協力団体

- ◎三輪地区民生児童委員協議会
- ◎長野交通安全協会三輪支部
- ◎三輪子どもプラザ
- ◎城東子どもプラザ
- ◎三輪地区老人クラブ連合会
- ◎三輪通り商店会
- ◎長野地区保護司会第三分区三輪地区
- ◎長野市消防団長野第7分団
- ◎湯谷児童センター
- ◎三輪地区スポーツ推進委員会
- ◎三輪地区白バラ会
- ◎ボランティア美和
- ◎長野中央少年警察補導員協会
- ◎三輪小学校 PTA
- ◎湯谷子どもプラザ
- ◎三輪甚句保存会
- ◎三輪中央振興会
- ◎町別育成会連絡協議会

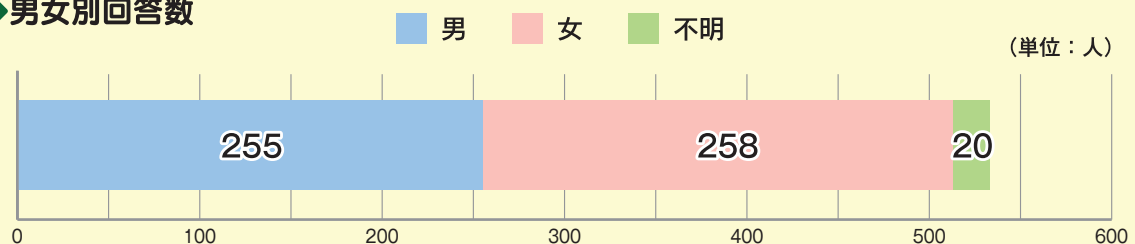
参考資料（アンケート調査結果）

第四次地域福祉活動計画を策定するにあたり、当協議会の置かれている現状や地域を取り巻く様々な環境の変化、新たな課題等を把握するため、住民の皆さんが日頃感じていることやお気づきの点、当協議会に期待することなどのお声を聴かせていただくアンケート調査を各区の隣組長さんに対し実施いたしました。

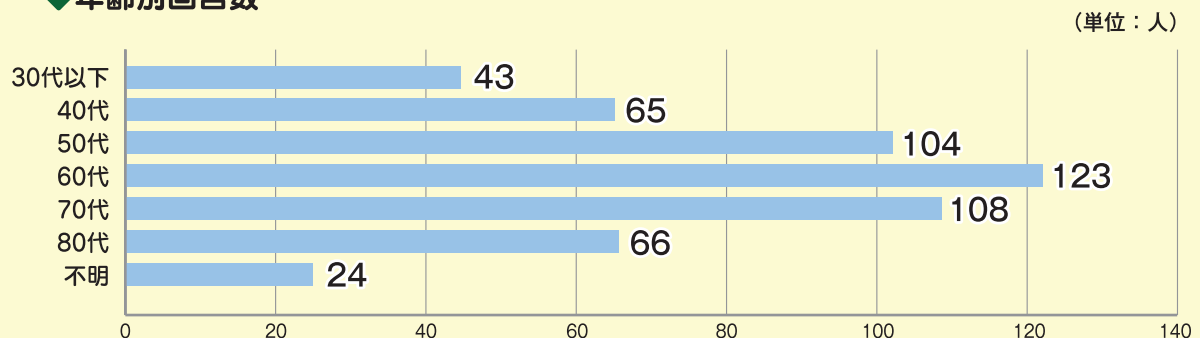
アンケート調査結果は以下のとおりです。この調査を踏まえて、本計画づくりの参考にするとともに、三輪地区の今後のまちづくりの施策に生かしてまいります。

【アンケート調査の概要】

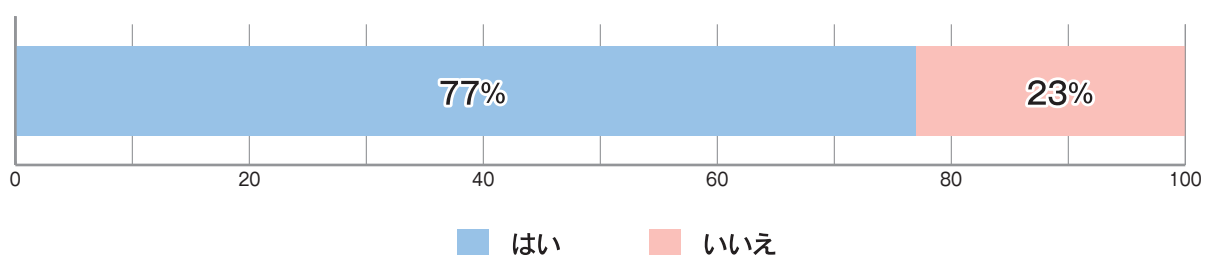
- ◆アンケート実施時期 令和6年10月
- ◆アンケート調査対象 各区の隣組長
- ◆アンケート調査依頼数 855名、回収数533名、回収率62.3%
- ◆男女別回答数



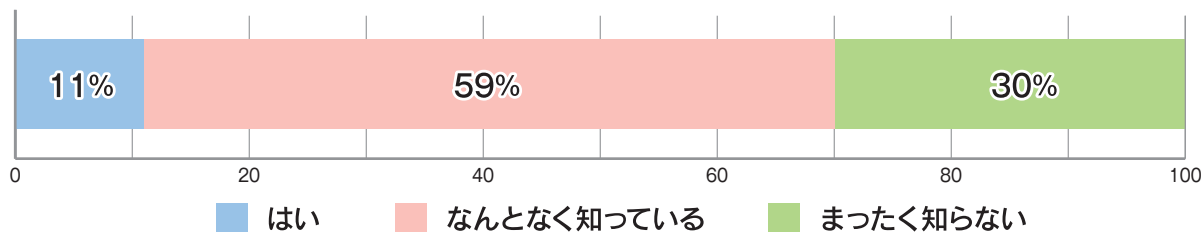
◆年齢別回答数



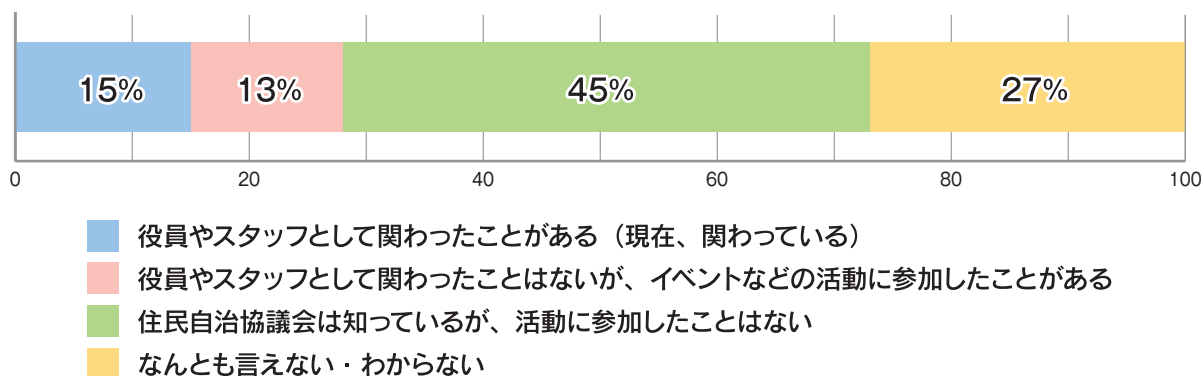
問1 「三輪地区住民自治協議会」をご存じですか。



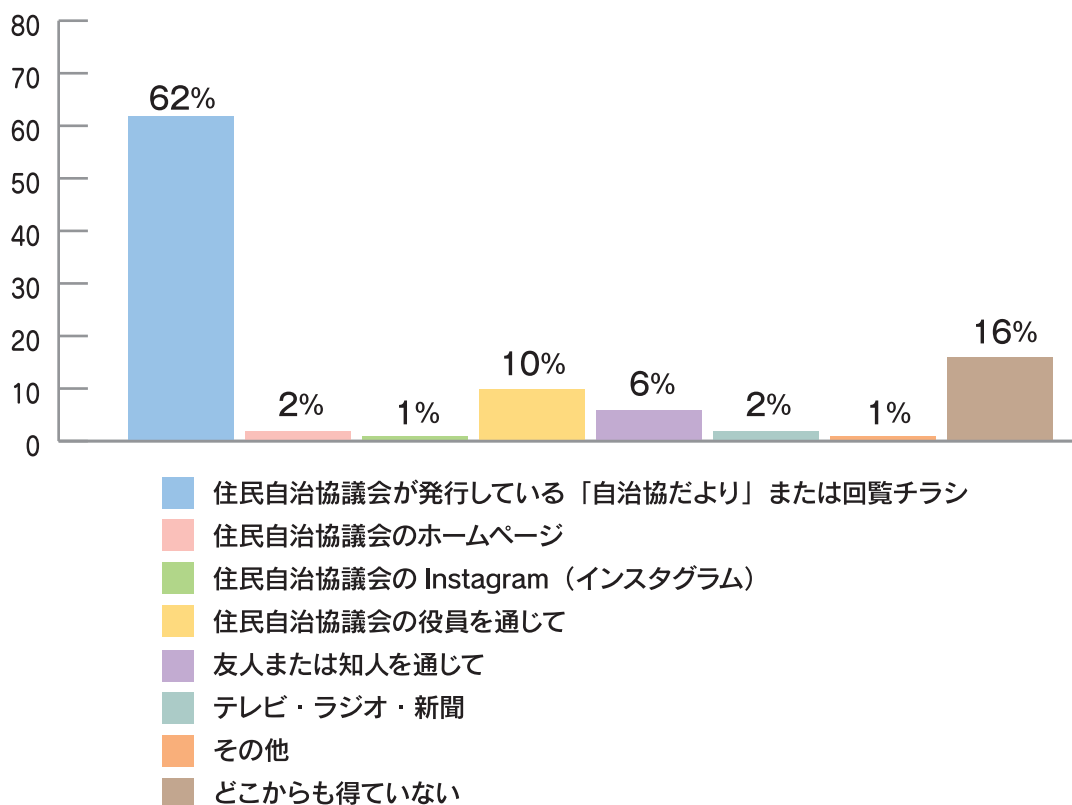
問2 住民自治協議会が、具体的にどのような活動を行っているかご存じですか。



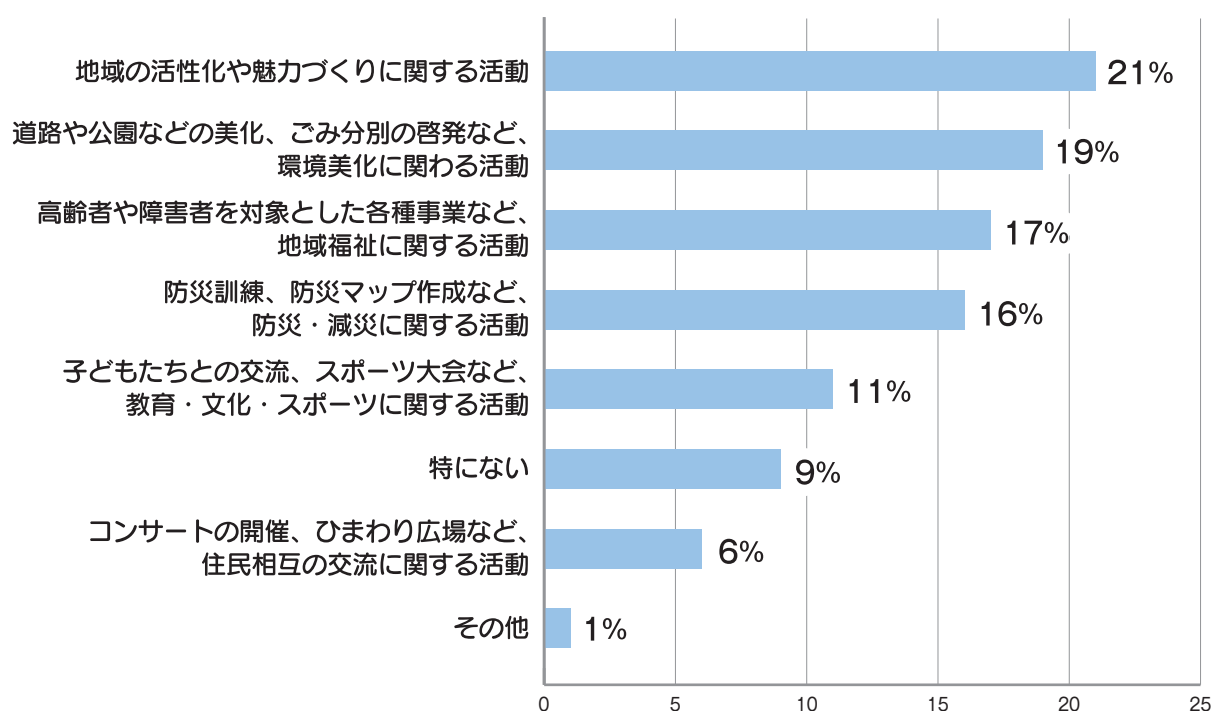
問3 あなたは、住民自治協議会の活動に参加したことがありますか。



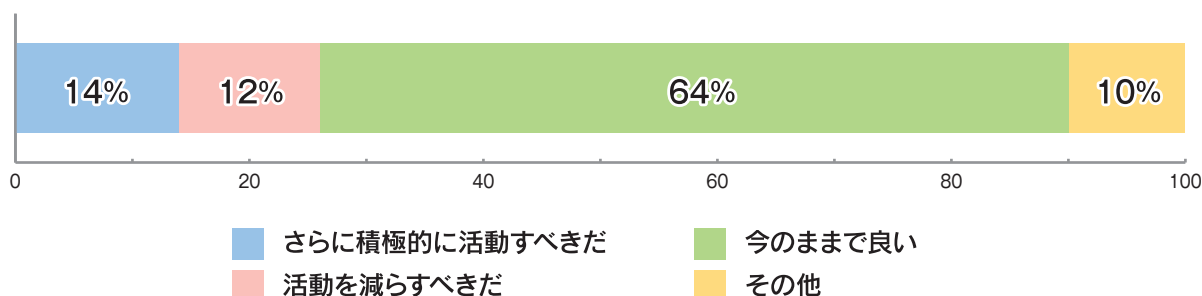
問4 あなたは、住民自治協議会の情報は、どこから得ていますか（当てはまるものすべて選択）。



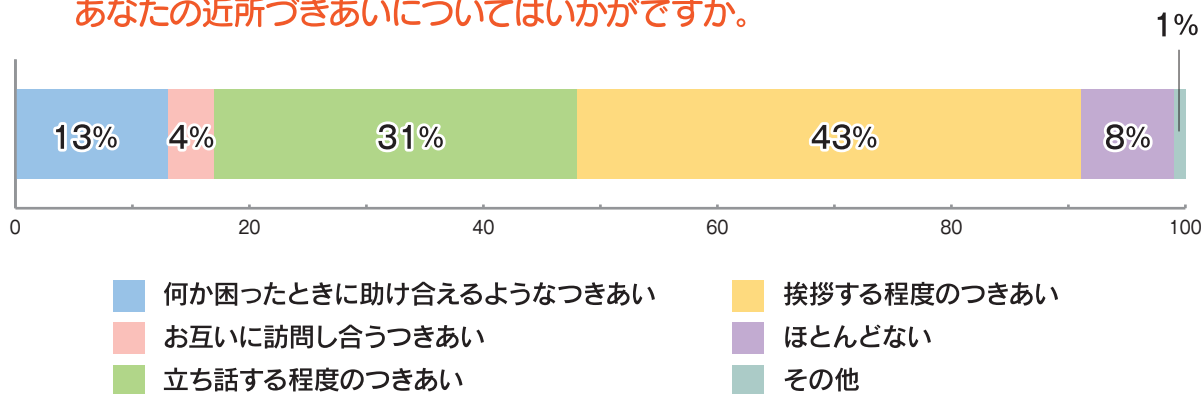
問 5 住民自治協議会には、今後、どのような活動に力を入れてほしいと考えていますか
(2つまで選択)。



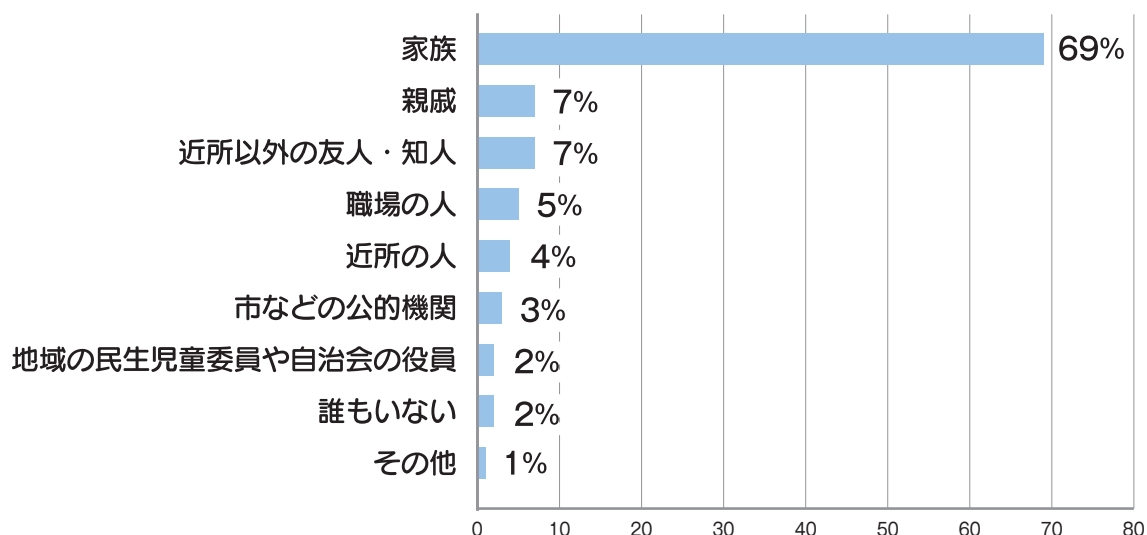
問 6 あなたは、住民自治協議会の今後の在り方について、どのように考えますか。



問 7 最近、地域とのつながりが薄れてきていると言われますが、あなたの近所づきあいについてはいかがですか。

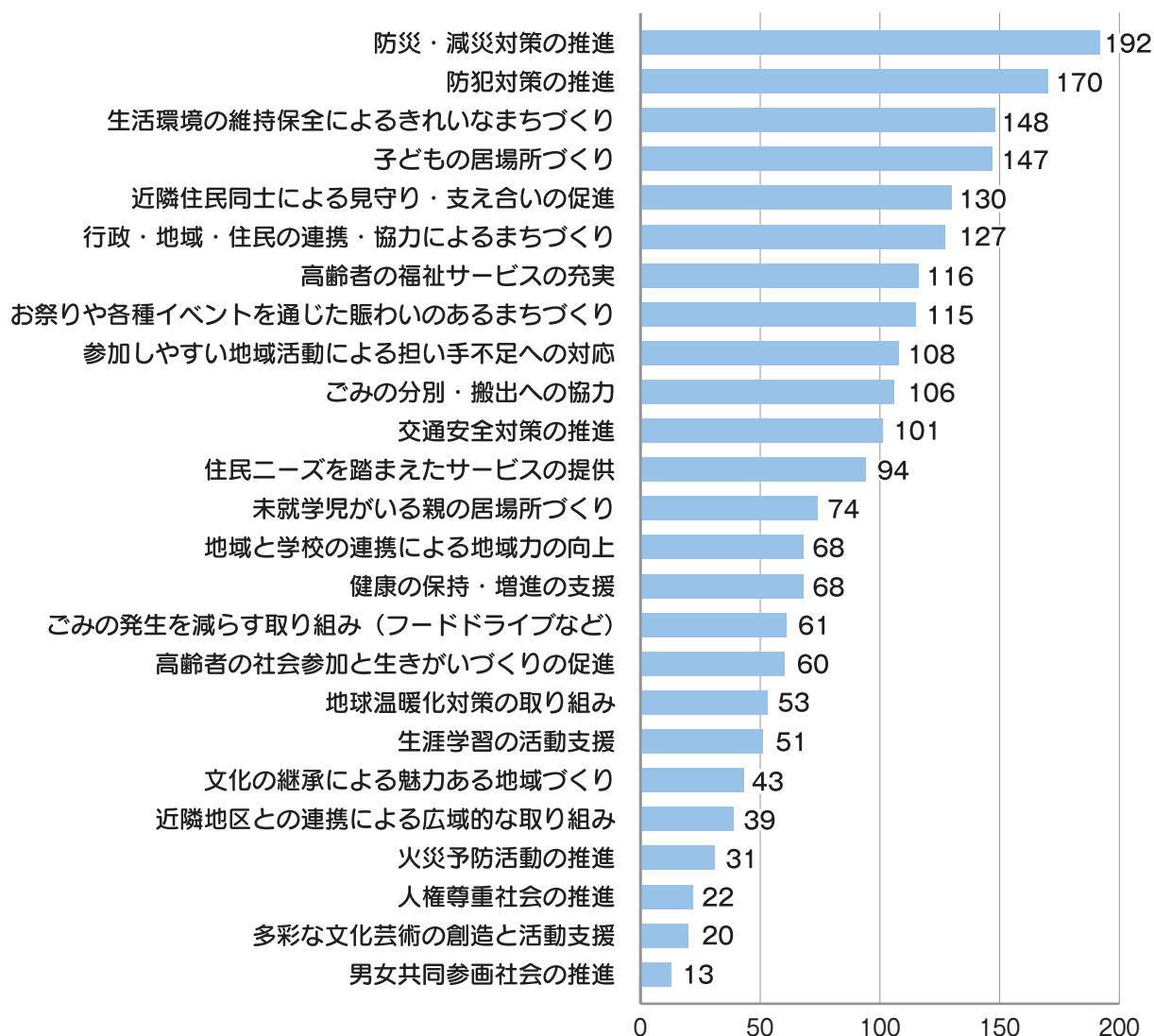


問 8 あなたが何か困ったとき、誰に相談したり助けてもらいますか。



問 9 住みよい地域をつくるため、特に力を入れるべきだと思う取り組みを、選んでください。(複数回答)

(単位：件)



あとかき

第四次となるこの地域福祉活動計画は、自治協をはじめとする関係者で組織された策定委員会において、計 6 回にわたる検討を経て策定されました。

また、策定にあたっては、令和 6 年 10 月に各区の隣組長に対して行いましたアンケート調査の結果なども極力反映されるよう努めてまいりました。

この間、策定委員会のメンバーをはじめ、関係の皆さんの大変なご苦勞やご協力に心より感謝を申し上げます。

第四次三輪地区地域福祉活動計画 策定委員会

委員長	金井 和彦	三輪地区住民自治協議会 会長
副委員長	樋口 恵子	〃 副会長
委員	伊倉 順治	〃 副会長
〃	山口 勝	〃 副会長
〃	藤田 彰	〃 区長部会 本郷区長
〃	金井 信幸	〃 公民館部会 部会長
〃	関野 美鈴	〃 健康・福祉部会 部会長
〃	小林 雄一	〃 安全・安心部会 部会長
〃	花崎 秀紀	〃 広報委員会 委員長
〃	中野 幸夫	〃 環境美化委員会 委員長
〃	前島伊知郎	〃 防災委員会 委員長
〃	矢島 俊一	〃 ボランティア推進委員会 委員長
〃	高島 陽子	〃 区民広場委員会 委員長
〃	前田 暎子	三輪地区民生委員児童委員協議会 副会長
アドバイザー	松木 茂美	長野市三輪支所 支所長
〃	酒井 誠	〃 支所長補佐
〃	松岡 伸樹	長野市社会福祉協議会 主任
〃	福島 有基	〃 主事
事務局	宮入 一夫	三輪地区住民自治協議会 事務局長
〃	長峯 邦子	〃 事務局職員
〃	清水美音子	〃 地域福祉ワーカー
〃	中村 絵美	〃 生活支援コーディネーター
〃	北澤 歩	〃 地域たすけあい事業コーディネーター

＊ 人々の思いやりがあれば、小さな善意を大きな貢献にかえることができます

＊ 本当の教育は知性と美しさと善良さを組み合わせたものです

～ ヘレン・ケラーの言葉より ～



第四次三輪地区地域福祉活動計画

発行日 令和 7 年 4 月 1 日

発 行 三輪地区住民自治協議会

住 所 〒380-0803 長野市三輪 4-15-1 (長野市立三輪公民館内)

Tel026-225-9567 fax026-225-9647

E-mail : miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp

地域たすけあい事業専用電話 026-232-2225

Instagram



Facebook



自治協HP

